

## プログラムの概要

団体名称	代表団体:全国自立生活センター協議会(JIL) 協力団体:
実施規模	□地域限定のプログラム:1,000万円未満/3年以内に完了するもの ■全国展開のプログラム:1,500万円未満/3年以内に完了するもの
実施期間	2022年4月~2024年10月(2年7か月間)
実施場所	・国内:兵庫、東京 ・海外:コスタリカ他、実施団体(JIL)が対象者と協議の上選定する国(中南米・アジア)
タイトル	自立生活を推進するための国際協カステップアップ研修 ~障害当事者間のエンパワメントとネットワークの構築に向けて~
目的	開発途上国の障害者が自立生活を実現できるよう、国際協力に取り組む障害当事者を増やし、ネットワークを構築すること。
概要	参加団体が次世代のスタッフを含め、国内外での実践型研修を通じ開発途上国の障害者が自立生活を実現するために必要なノウハウを継続的に伝えられるようになることを目指す。また、各団体が本事業で構築するネットワークを活用し、国際協力に必要な資金・人材を獲得、より効果的な活動の実施につなげることを図るもの。 コロナ禍において、渡航が困難になるのはもちろん、参加団体の障害者をサポートする「介助者」を本事業の海外研修に連れていくことにより参加団体所属の介助者が【渡航期間+隔離期間】の間、働けなくなることは参加団体が支援している障害者の地域生活に深刻な影響を及ぼすことになる。このことを踏まえ、海外研修のプログラムを全員参加(義務)ではなく希望者が参加できるプログラムに変更する。少なくとも1回は参加団体全員が海外研修に行けるよう計画している。
受講対象者及び定員	・対象:国際協力に関心を有する障害者団体等(20~30代のスタッフを含む) ・定員:9団体(各2名)合計18名
到達目標	1. 国際協力に関心がある障害者団体の事業実施能力を強化する。 2. 国際協力に関心がある障害者団体のネットワークをつくる。 3. 国際協力を担う次世代の障害者を育成する。
到達目標を測る指標	1. <u>国際協力に関心がある障害者団体の事業実施能力を強化する。</u> 1-1. 参加者が自立生活の実現に必要なノウハウを開発途上国の障害者に伝えるセミナーに参加した経験がある。 1-2. 参加者が自団体の国際協力に関するアクションプランを本事業終了時まで作成している。(レベルI:準備コース、レベルII:すぐやるコース) 2. <u>国際協力に関心がある障害者団体のネットワークをつくる。</u> 2-1. 本事業終了時点で、参加団体による情報共有のための定例会議(年2~3回)開催が計画されている。 2-2. 「障害と開発」分野に関する国際協力の相談について、JILが窓口となり参加団体等にリファーできる体制が計画されている。 3. <u>国際協力を担う次世代の障害者を育成する。</u> 3-1 自立生活に必要なノウハウを伝えた経験を有する20~30代のスタッフが全国に10名程度いる。